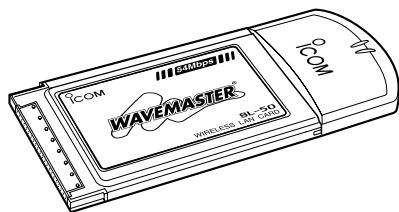


取扱説明書



5GHz 無線LANカード SL-50

CDに収録の補足説明書には、本章に記載されていない内容についての説明が収録されています。



安全上のご注意

1

ご使用の前に

2

ドライバーのインストール

3

設定ユーティリティについて

4

アクセスポイントと無線通信する

5

パソコン同士で無線通信する

6

ご参考に

7

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、周波数5GHz帯を使用して、54Mbpsの超高速データ伝送を行う無線LANカードです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

ユーザー登録について

本製品のユーザーサポート用愛用者カードに必要事項をご記入いただき、必ずご返送ください。

ご返送いただけない場合、サポートサービスをご提供できませんのでご注意ください。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom.Inc.、icomは、アイコム株式会社の登録商標です。

WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Atheros DrivenおよびAtheros Drivenロゴは、Atheros Communications, Inc. の商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本製品の概要について

- ◎PCカードスロット(CardBus type II)を装備するパソコン、または弊社指定のアクセスポイントやルータなどに装着できます。
- ◎最大54Mbpsの通信速度で無線通信が行えます。
- ◎WEPやAESによる暗号化処理など、高度なセキュリティー機能により、データの安全性を確保します。
- ◎5GHz帯の周波数を使用していますので、妨害や混信が少なく安心してご使用いただけます。
- ◎マルチパスに強い地上波デジタルテレビジョン放送と同じ変調(OFDM)方式を採用しています。
- ◎財団法人 テレコムエンジニアリングセンターの技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許は不要です。
- ◎Atheros製802.11a規格対応チップセットを搭載しています。



標準構成品

本製品には、下記のことを同梱しています。

- 無線LANカード本体]
- CD(UTILITY DISK)]
(ドライバー、Utility、補足説明書)
- 取扱説明書(本書)
- ユーザーサポート用愛用者カード
- 保証書

お手もとの商品について、ご確認いただき、不足しているものがございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社営業所サービス係までお問い合わせください。

はじめに

動作環境について

■ 対応PC

PC/AT互換機(DOS/V)

■ Card Bus

PCカードスロット(CardBus type II)を装備するパソコン

■ 対応OS

本製品のドライバーと設定ユーティリティーは、次のOSに対応します。

Windows^{XP} Professional

Windows^{XP} Home Edition

Windows 2000 Professional

Windows Millennium Edition

Windows 98 Second Edition

表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

[] 表記…オペレーションシステム(OS)、設定ユーティリティー、メニュー、ウィンドウ(画面)の名称を([])で囲んで表記します。

[] 表記…タブ名、アイコン名、テキストボックス名、チェックボックス名などを([])で囲んで表記します。

< > 表記…ダイアログボックスのコマンドボタンなどの名称を(< >)で囲んで表記します。

※本書では、各対応OSに対する記載について下記のように総称し、表記しています。

Windows^{XP}、Windows 2000、

Windows Me、Windows 98SE

ご使用までの流れ

本製品を使って無線LANに接続するには、次のステップにしたがって、設定する必要があります。

各ステップの右に記載の数字は、本書の参照ページです。

最低限必要な設定は、この参照ページにしたがって設定を進めてください。

ステップ1

通信形態を確認する ————— 3

ステップ2

PCカードドライバーの確認 ————— 5

ステップ3

ドライバーのインストール ————— 6

Windows^{xp}の場合(※)6

Windows 98SEの場合8

Windows Me/2000の場合12

ステップ4

設定ユーティリティのインストール ————— 15

ステップ5

運用形態に
より選択

アクセスポイントと無線通信する ————— 19

パソコン同士で無線通信する ————— 20

ご参考に

本製品の取り外し/アンインストール/定格 ————— 26

※Windows^{xp}の場合、ドライバーのインストールは、本書で説明するほかのOSとは手順が異なりますのでご注意ください。

設定ユーティリティの詳細な設定についての説明は、本製品に付属のCDに収められているPDF形式の補足説明書をご覧ください。

PDF形式の補足説明書をご覧になるには、「Acrobat Reader(日本語版)」が必要です。

本製品のCDには、「Acrobat Reader(日本語版)」を収録していますので、ご利用ください。

はじめに

Auto Run機能について

本製品に付属するCDは、Auto Run機能が付いていますので、CDをご使用のCDドライブに挿入すると、自動的にメニュー画面を表示します。

〈終了〉ボタンをクリックすると、メニュー画面を終了します。CDに収録の補足説明書には、本章に記載されていない内容についての説明が収録されています。

- ① 本製品のCDをご使用のCDドライブに挿入すると、メニュー画面を表示します。
- ② 〈補足説明書〉をクリックします。



※自動でメニュー画面を表示しないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。

電波法上のご注意

- 電波法により、屋外での使用は禁じられています。
- 本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。

取り扱い上のご注意

- ◎本製品と異なる規格の無線LAN機器(IEEE802.11b : 11Mbps無線LAN)などとは通信できません。
- ◎電波法により、屋外で使用することは禁止されています。
- ◎パソコンおよび本製品以外の周辺機器の取り扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
- ◎本製品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。このようなときは、本製品が装着された機器を、妨害を受けている機器からできるだけ離して設置してください。
- ◎本製品のドライバーおよび設定ユーティリティーは、本製品以外の機器で使用しないでください。
- ◎本製品の改変や分解したことによる障害、および故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎本書の著作権およびハードウェア、ソフトウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
- ◎本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。
- ◎本書およびハードウェア、ソフトウェア、外観の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

もくじ

第1章 安全上のご注意(必ずお読みください。) ————— 1

第2章 ご使用の前に ————— 3

- 2-1.通信形態を確認する3
- 2-2.各部の名称と機能4
- 2-3.PCカードドライバーの確認5

第3章 ドライバーのインストール ————— 6

- 3-1.Windows^{XP}の場合6
- 3-2.Windows 98SEの場合8
- 3-3.Windows Me/2000の場合12

第4章 設定ユーティリティについて ————— 15

- 4-1.設定ユーティリティのインストール15
- 4-2.起動と終了のしかた17

第5章 アクセスポイントと無線通信する ————— 19

第6章 パソコン同士で無線通信する ————— 20

- 6-1.本製品の基本設定をする20
- 6-2.IPアドレスを設定する21
- 6-3.「フルコンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定24
- 6-4.「共有フォルダー」の設定25

第7章 ご参考に ————— 26

- 7-1.本製品を取り外すには26
- 7-2.ドライバーのアンインストール27
- 7-3.設定ユーティリティのアンインストール30
- 7-4.ドライバーのインストール状態を確認する31
- 7-5.Pingコマンドで確認する33
- 7-6.故障のときは34
- 7-7.定格35

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

- ここに示した注意事項は、使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
- 次の『△警告』『△注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

■本製品について



警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをする
と「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎指定以外の付属品および別売品は、
使用しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎本製品のコネクタ一部分に線材の
ような金属物を入れたり、差し込
んだりしないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎製品の分解や改造は、絶対にしな
いでください。また、ご自分で修
理しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎本製品の取り付けや取りはずし、
保管するときは、赤ちゃんや小さ
なお子さまの手が届かない場所
で行ってください。

けが、感電の原因になります。

◎水や海水につけたり、ぬらさない
でください。

火災、感電、故障の原因になります。

◎本製品を使用中は、ぬれた手で本
製品に触れないでください。

感電の原因になります。

◎万一、煙が出ている、変なにおい
がする、変な音がするなどの異常
がある場合は、使用しないでくだ
さい。

そのまま使用すると、火災、感電、
故障の原因になります。

すぐにパソコンの電源スイッチを
切り、本製品を取りはずしてくだ
さい。

煙が出なくなるのを確認してから
お買い上げの販売店、または弊社
営業所サービス係に連絡してくだ
さい。

1 安全上のご注意



注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをする
と「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的
損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

- ◎本製品をパソコンに差し込むときは、本製品の裏と表をまちがえないように十分注意してください。
故障の原因になることがあります。
- ◎パソコンを運用中に、取扱説明書の指示を無視して、本製品を取りはずさないでください。
故障や、データの消失または破損の原因になることがあります。
- ◎OSが起動しているあいだは、本製品を取りはずしたり、取り付けたりしないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎長時間、本製品を使用しないときは、安全のためパソコンから本製品を取りはずしてください。
発熱、発火、故障の原因になることがあります。
- ◎湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。
火災、感電、故障の原因になることがあります。
- ◎本製品を落としたり、強い衝撃を与えたり、無理にねじったりしないでください。
けが、故障の原因になることがあります。
- ◎本製品の上に乗ったり、重い物を載せたり、挟んだりしないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎テレビやラジオの近くで使用しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- ◎本製品を取り付けたパソコンをぐらついた台の上や、傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因になることがあります。
- ◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。
ケースが変質したり、塗料がはげる原因になることがあります。
普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。
- ◎強い磁界や静電気の発生する場所、温度、湿度がパソコンの取扱説明書に定めた使用環境を超える、または結露するところでは使用しないでください。
故障の原因になることがあります。

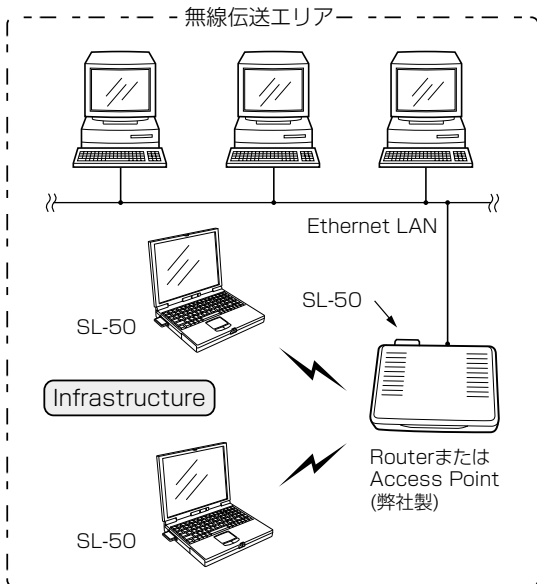
2-1 通信形態を確認する

本製品は、ご使用の環境によって、次のどちらかの「無線通信モード」が選べます。
 ※出荷時は、「インフラストラクチャ」モードに設定されています。

■ アクセスポイントと無線通信する：「インフラストラクチャ」モード(※5章)

本製品を装着するパソコンから弊社製無線アクセスポイントや無線ルータにアクセスして、無線と有線が混在するネットワークを構築するとき使用します。

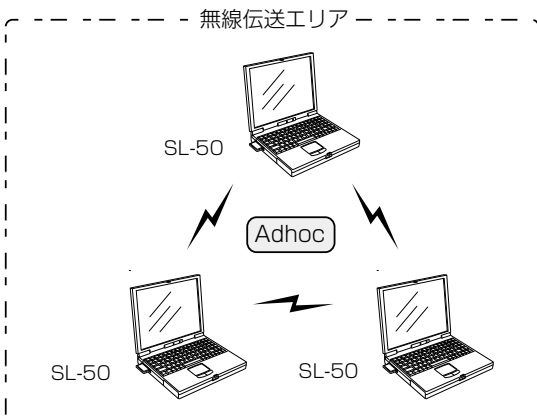
※同じ無線ネットワークグループとして接続できる台数は、ご使用になる弊社製無線LAN機器に付属の取扱説明書をご覧ください。



■ パソコン同士が無線で直接通信する：「アドホック」モード(※6章)

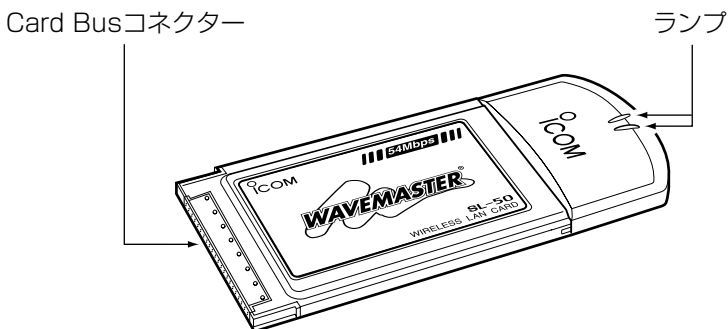
本製品を装着するパソコンだけで無線LANを構築するとき使用します。

※最大40～50台を同じ無線ネットワークグループとして接続できますが、頻繁に通信をするような環境では、接続台数を10台以下にすることをオススメします。



2 ご使用の前に

2-2 各部の名称と機能



【ランプと無線LANカードの状態】

ランプ	無線LANカードの状態
同時に高速で点滅	送受信しているデータ量が多いとき
同時にゆっくり点滅	送受信しているデータ量が少ないとき
交互にゆっくり点滅	無線伝送可能なエリアを外れた場合など、通信できる無線LAN機器を探しているとき
消灯	本製品に電源が供給されていないとき

【CardBusコネクタ】

パソコン本体などに装備されたPCカードスロット(CardBus type II)に接続する端子です。

※金属片やゴミがコネクタに付着していないことを確認してから装着してください。

【ご参考に】

◎本製品は、CardBus対応のPCカードスロットを装備するパソコン、または本製品に対応する弊社製無線アクセスポイントや無線ブロードバンドルータと併せてご使用いただけます。

◎OSが「Plug and Play」に対応していますので、パソコンのOSが起動した状態で本製品を装着できます。

2-3 PCカードドライバーの確認

本製品を取り付けてドライバーをインストールする前に、32ビットPCカードドライバーの状態を、次のWindows[®]の手順を例に確認してください。

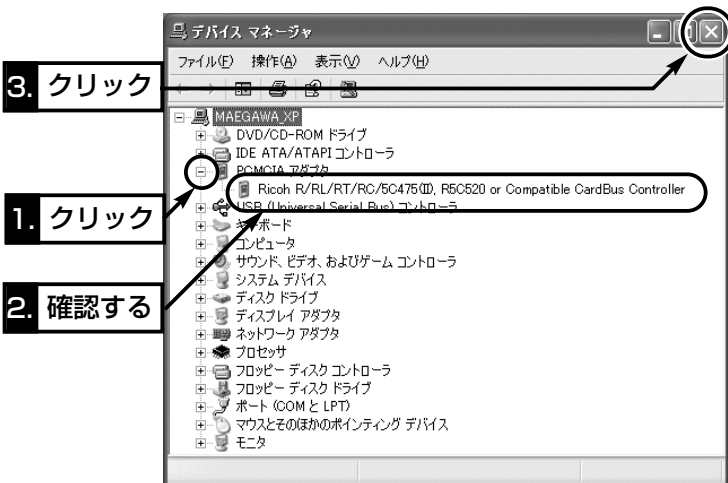
PCカードアダプターを標準装備していないパソコンは、特に注意してください。

【確認の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[マイコンピュータ](右クリック)→「プロパティ(R)」の順にクリックします。
 - 「システムのプロパティ」を表示します。
2. [ハードウェア]タブ→〈デバイス マネージャ(D)〉の順にクリックします。
 - 「デバイス マネージャ」を表示します。
3. 「PCMCIAアダプタ」の田をクリックします。

「PCMCIAアダプタ」の中に表示されるデバイスのアイコンに「!」や「×」マークが付いていないことを確認します。

※ 「PCMCIAアダプタ」の中に表示されるデバイス名は、パソコンによって異なります。
4. 「!」や「×」マークが付いていなければ、〈×〉をクリックして、画面を閉じます。次ページの「3 ドライバーのインストール」に進みます。



※ 「PCMCIAソケット」の中に表示されるデバイス名に「!」や「×」マークが付いている場合は、ご使用のPCカードアダプターに付属する取扱説明書にしたがって、PCカードドライバーを再インストールしてください。

3

ドライバーのインストール

3-1 Windows^{XP} の場合

本製品のドライバーをインストールする手順について説明します。

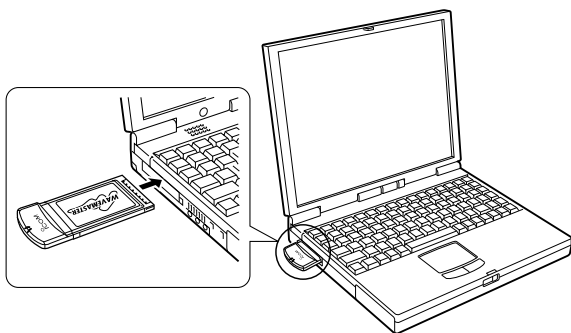
本製品を使って通信するすべてのパソコンにインストールしてください。

【インストールの手順】

1. パソコンの電源を入れて、管理者権限でログオンします。
2. 現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。
3. 本製品に付属のCDをCDドライブ[D:](以後CDドライブをDとする)に挿入します。
4. CDドライブのAuto Run機能が動作して、メニュー画面を表示します。
5. このOSは、メニュー画面からインストールを行いませんので、〈終了〉ボタンをクリックします。
6. 本製品をパソコンのCard Bus対応PCカードスロットに、WAVEMASTERのシールが貼られた面を上にして挿入します。

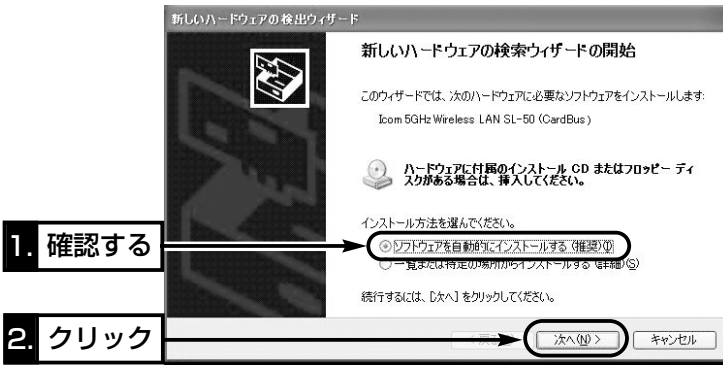
なお、メーカーによっては異なることがありますので、ご注意ください。

※パソコンのタスクバーには、右の画面を表示します。



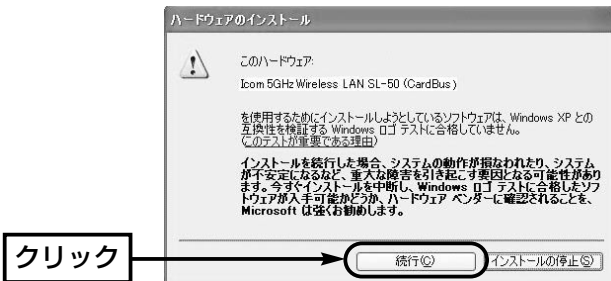
※本製品は、CardBus対応のPCカードスロットに装着してください。

7. 設定内容を確認して、〈次へ(N)〉をクリックします。

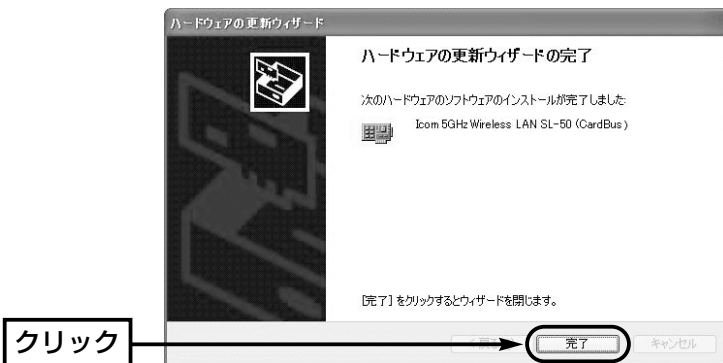


8. ドライバーを検索する画面を表示中に、次の画面が表示されますので、〈続行 (C)〉をクリックします。

- インストールを開始します。



9. 〈完了〉をクリックします。



3 ドライバーのインストール

3-2 Windows 98SEの場合

本製品のドライバーをインストールする手順について説明します。

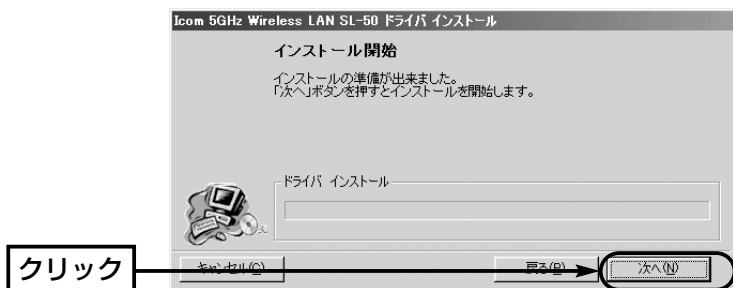
本製品を使って通信するすべてのパソコンにインストールしてください。

【インストールの手順】

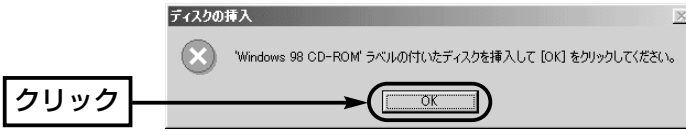
- 1.現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。
- 2.本製品のCDをパソコンのCDドライブ[D:](以後CDドライブをDとする)に挿入します。
- 3.CDドライブのAuto Run機能が動作して、メニュー画面が表示されます。
※メニュー画面を表示しないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。
- 4.〈ドライバ インストール〉 ボタンをクリックします。
- 5.〈次へ(N)〉 をクリックします。



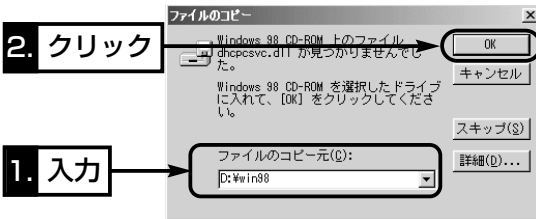
6. 〈次へ(N)〉 をクリックします。
 - インストールを開始します。



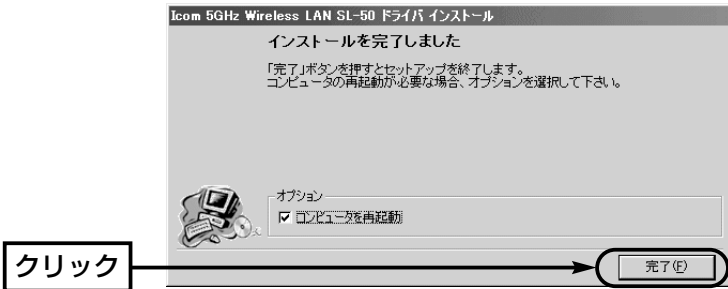
7. 〈OK〉 をクリックします。



8. 本製品のCDとOSのCD-ROMを入れ替えて、CDドライブ名[D:]とそのフォルダー(D:¥Win98)を指定してから 〈OK〉 をクリックします。



9. 〈完了(E)〉 をクリックします。



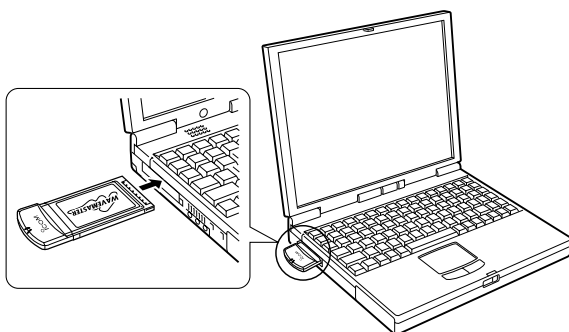
3 ドライバーのインストール

3-2 Windows 98SEの場合

【インストールの手順】(つづき)

10. 本製品をパソコンのCard Bus対応PCカードスロットに、WAVEMASTERのシールが貼られた面を上にして挿入します。

なお、メーカーによっては異なることがありますので、ご注意ください。



※本製品は、CardBus対応のPCカードスロットに装着してください。

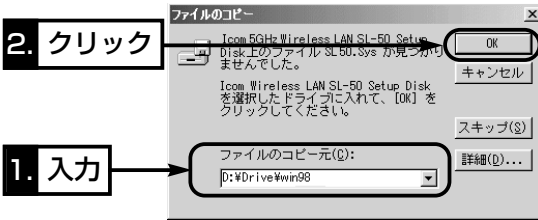
11. パソコンが本製品を自動的に認識して、次の画面を表示します。



12. <OK> をクリックします。



- 13.本製品のドライバーが収められたCDのCDドライブ名[D:]とそのフォルダー(D:¥Driver¥win98を指定してから、〈OK〉をクリックします。



- 14.手順7.~8.の画面が表示されたときは、同じ操作を行います。
- 15.本製品に付属のCDをCDドライブから取り出して、パソコンを再起動すると完了です。
- 16.再起動後、「ネットワークのパスワード入力」画面が表示されたときは、[ユーザー名(U)]と[パスワード(P)]をテキストボックスに入力してから、〈OK〉をクリックします。

3 ドライバーのインストール

3-3 Windows Me/2000の場合

本製品のドライバーをインストールする手順について説明します。

本製品を使って通信するすべてのパソコンにインストールしてください。

【インストールの手順】

1. パソコンの電源を入れます。

※Windows2000は、管理者権限でログオンします。

2. 現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。

3. 本製品のCDをパソコンのCDドライブ[D:](以後CDドライブをDとする)に挿入します。

4. CDドライブのAuto Run機能が動作して、メニュー画面が表示されます。

※メニュー画面を表示しないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。

5. <ドライバ インストール> ボタンをクリックします。

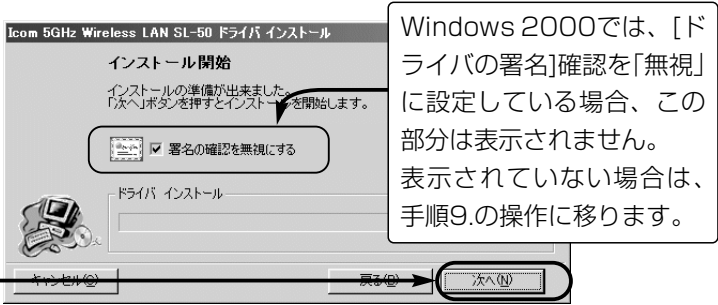
6. <次へ(N)> をクリックします。



7. 〈次へ(N)〉をクリックします。

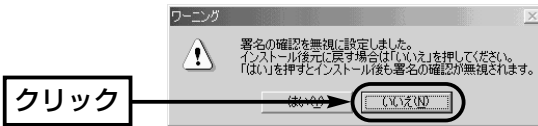
- インストールを開始します。

※Windows Meのかたは、手順9.の操作に移ります

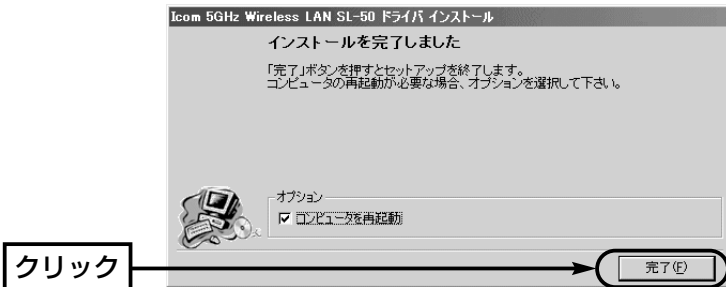


8. 〈はい(Y)〉をクリックします。

※次回のインストールから、[ドライバの署名]確認の画面を表示させない場合は、〈はい(Y)〉をクリックしてください。



9. 〈完了(E)〉をクリックします。



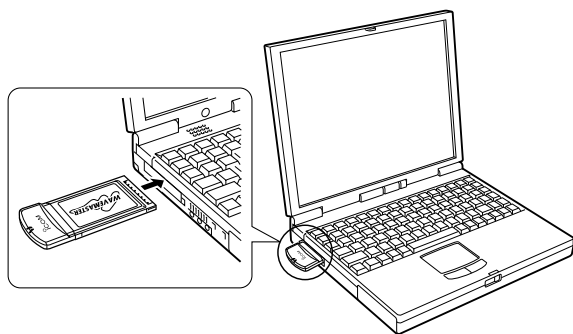
3 ドライバーのインストール

3-3 Windows Me/2000の場合

【インストールの手順】(つづき)

10.本製品をパソコンのCard Bus対応PCカードスロットに、WAVEMASTERのシールが貼られた面を上にして挿入します。

なお、メーカーによっては異なることがありますので、ご注意ください。



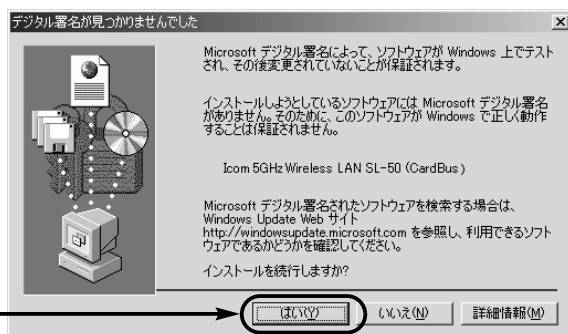
※本製品は、CardBus対応のPCカードスロットに装着してください。

11.パソコンが本製品を自動的に認識して、次の画面を表示します。



12.Windows 2000で、次の画面が表示されたときは、〈はい(Y)〉をクリックします。

本製品に付属のCDをCDドライブから取り出すと完了です。



4-1 設定ユーティリティのインストール

本製品の無線通信モード(☞2-1章)やセキュリティの設定などが行えるソフトウェアです。

この章では、設定ユーティリティをインストールする手順について説明します。本製品を使って通信するすべてのパソコンにインストールしてください。

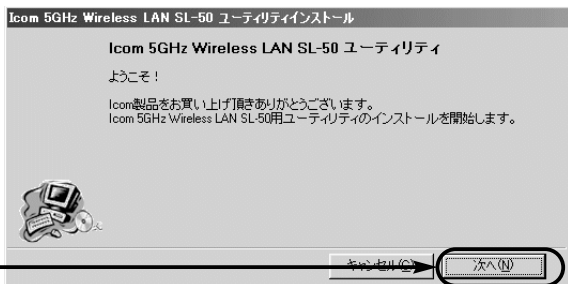
【インストールの手順】

※Windows^{XP}、Windows2000は、管理者権限でログオンしてください。

- 1.現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。
- 2.本製品のCDをパソコンのCDドライブに挿入します。
- 3.CDドライブのAuto Run機能が動作して、メニュー画面が表示されます。

※メニュー画面を表示しないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。

- 4.〈ユーティリティ インストール〉 ボタンをクリックします。
- 5.〈次へ(N)〉 をクリックします。

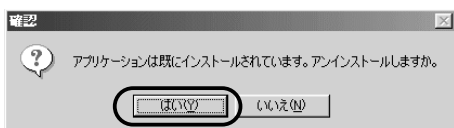


クリック

■再インストールするときは

上記インストール手順1.~5.の操作を再度行います。

手順5.の操作をして表示される右記の画面にしたがうと、設定ユーティリティがアンインストールされ、引き続き表示される画面(☞次ページ 手順6.)でインストールが行えます。



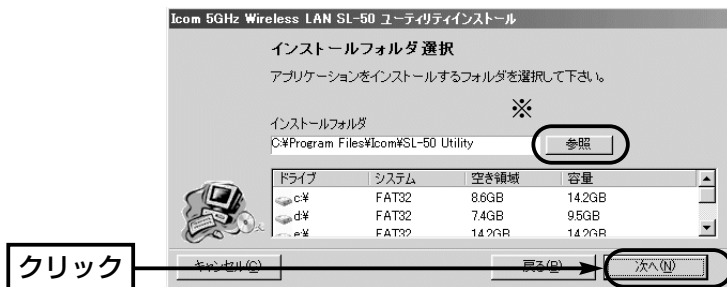
4 設定ユーティリティについて

4-1 設定ユーティリティのインストール

【インストールの手順】(つづき)

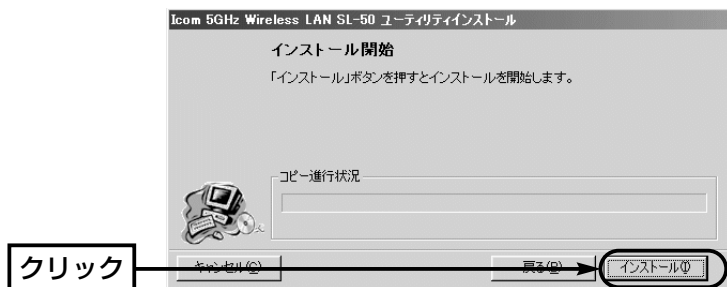
6. 設定ユーティリティのインストール先のフォルダーに変更がなければ、〈次へ(N)〉をクリックします。

※インストール先のフォルダーを変更したいときは、〈参照〉をクリックしてインストールするフォルダーを指定します。

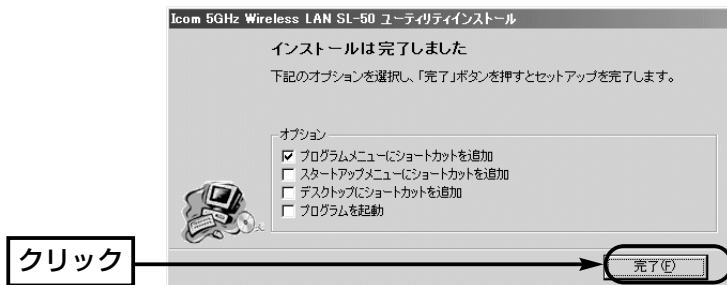


7. 「確認」画面を表示しますので、〈OK〉をクリックします。

8. 〈インストール(I)〉をクリックします。



9. 〈完了〉をクリックすると、インストールが完了します。



4-2 起動と終了のしかた

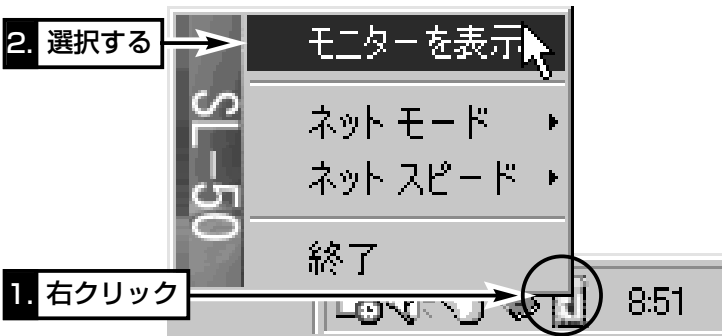
パソコンにインストールされた設定ユーティティの起動と終了のしかたについて説明します。

【起動の手順】

- 1.本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入します。
※挿入されていない状態では、カードを設定できません。
- 2.マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[SL-50 Utility]の順に操作すると、設定ユーティティが起動して常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示されると起動が完了です。
※アイコンの意味については、18ページをご覧ください。



- 3.タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。
※タスクバー上に表示されたアイコンをダブルクリックしても起動できます。







- 4.終了するときには、カーソルをそのアイコンの上に移動して、右クリックすると表示されるメニューから「終了」を選択します。



4 設定ユーティリティについて

4-2 起動と終了のしかた(つづき)

■ タスクバーに表示されるアイコンの意味

 通信中	本製品を接続するパソコンが、無線ネットワークに正常に接続された状態
 スキャン中	無線通信モードがインフラストラクチャのとき表示されるアイコンです。 本製品と接続するパソコンが、通信できる無線アクセスポイントの無線伝送エリアを外れた状態か、無線アクセスポイントを探している状態
 アダプタが見つかりません	本製品がパソコンに装着されていない、または本製品の装着を認識していない状態
 アダプタは正しく動作していません	本製品が接続されているが、ドライバーが正しくインストールされていないなどの理由で装着を認識できない状態

■ 無線アクセスポイントについて

無線アクセスポイントは、電源を入れた状態にしておいてください。

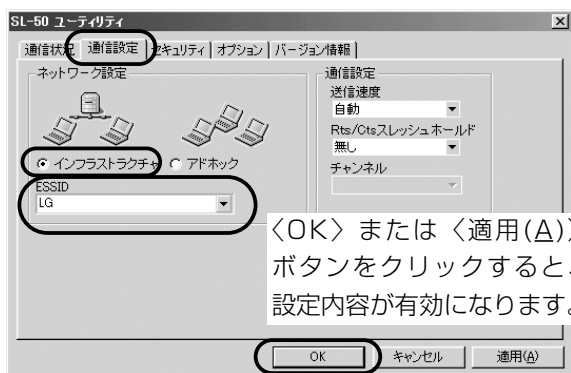
無線アクセスポイントは、DHCPサーバ機能を使用して通信するものとします。

また、本製品のドライバーをインストール(☞3章)した状態のパソコンは、IPアドレスをDHCPサーバから自動取得できる設定になっています。

■ 本製品の基本設定をする

設定ユーティリティを起動(☞4-2章)して、下記の基本設定項目を設定を行うと、アクセスポイントと無線通信できます。

※本製品を使って通信するすべてのパソコンに設定が必要です。



【基本設定項目】 アクセスポイントと通信を行うために必要な設定項目です。

無線通信モード ……………

ほかの無線LAN機器との通信形態を設定します。

無線アクセスポイントとの通信は、「インフラストラクチャ」に設定します。

(出荷時の設定：インフラストラクチャ)

ESS ID ……………

本製品と無線アクセスポイントには、通信相手をグループとして識別するための無線ネットワーク名として、ESS IDが設定されています。

(出荷時の設定：LG<半角>)

同じグループで通信するお互いの無線LAN機器で、この[ESS ID]が異なると通信できません。

※大文字/小文字の区別にご注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力してください。

6

パソコン同士で無線通信する

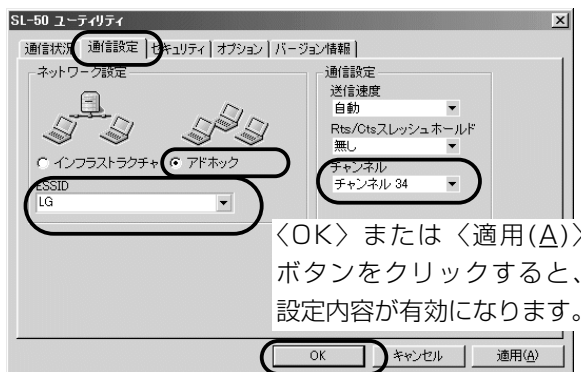
6-1 本製品の基本設定をする

設定ユーティリティを起動(4-2章)して、下記の基本設定項目を設定します。

※本製品を使って通信するすべてのパソコンに設定が必要です。

【基本設定項目】 パソコン同士で無線通信を行うために必要な設定項目です。

※基本設定が完了したら、本書6-2章～6-4章の設定を行ってください。



無線通信モード

ほかの無線LAN機器との通信形態を設定します。パソコン同士での通信は、「アドホック」に設定します。(出荷時の設定：インフラストラクチャ)

ESS ID

通信する本製品同士をワークグループとして識別するための無線ネットワーク名として、ESS IDが設定されています。(出荷時の設定：LG<半角>) 同じワークグループで通信する本製品同士で、この[ESS ID]が異なると通信できません。 ※大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力してください。

チャンネル

「アドホック」モードで通信するとき使用するチャンネルです。(出荷時の設定：チャンネル34) 無線伝送エリア内に複数のワークグループがある場合は、それぞれのワークグループで別々のチャンネルを設定してください。

6-2 IPアドレスを設定する

本書6-1章で基本設定したパソコン同士が無線通信を行うには、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。

※Windows^{XP}以外のOSでの設定手順は、補足説明書をご覧ください。

【設定の手順】

- 1.設定に使用するパソコンを起動します。
 - 「ログオン」画面を表示します。
- 2.管理者のユーザー名でログオンします。
- 3.パソコンが起動したら、マウスを〈スタート〉→[コントロールパネル(C)]の順に操作します。
- 4.コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。
- 5.[ネットワーク接続]アイコンをクリックします。



【IPアドレスの指定について】

- 同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのIPアドレスは、重複しないように設定してください。
- 同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのサブネットマスクは、同じ値を設定してください。
- 小規模なネットワーク(253台まで)でご使用になる場合は、プライベートアドレスとして192.168.0.0～192.168.255.255を使用します。なお、192.168.×××.0(ネットワークアドレス)と192.168.×××.255(ブロードキャストアドレス)は、特別なアドレスとして扱われますので、パソコンには、割り当てないでください。(×××:0～255)

3台のパソコンで無線LANを構成するときは、以下のようになります。

パソコンA：192.168.0.10(サブネットマスク：255.255.255.0)

パソコンB：192.168.0.11(サブネットマスク：255.255.255.0)

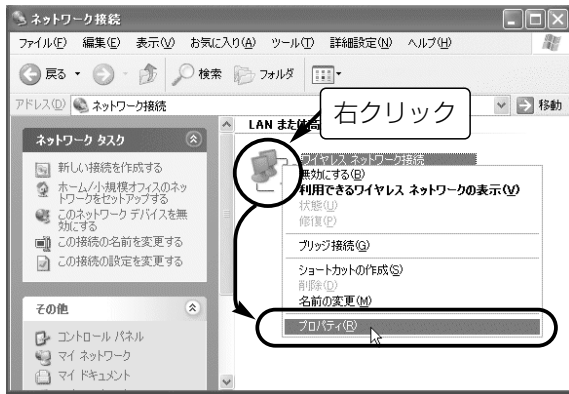
パソコンC：192.168.0.12(サブネットマスク：255.255.255.0)

6 パソコン同士で無線通信する

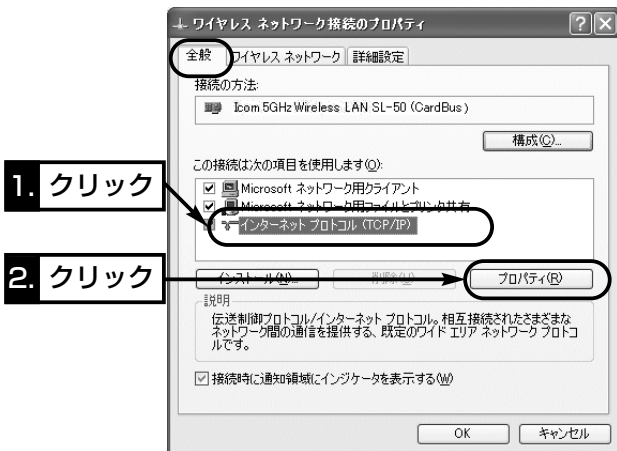
6-2 IPアドレスを設定する

【設定の手順】(つづき)

- 6.本製品の名称が表示された[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを右クリックして、表示されるメニューから[プロパティ(R)]をクリックします。

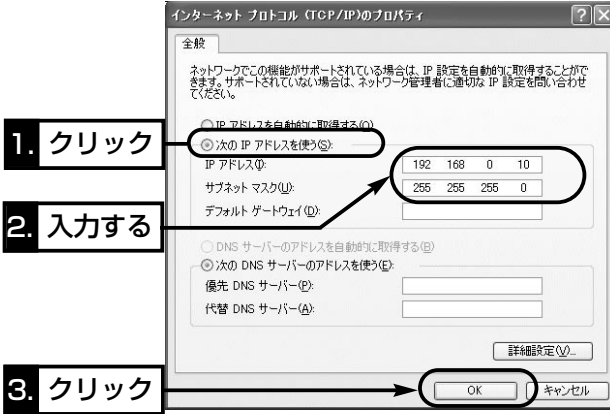


- 7.[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックして、〈プロパティ(R)〉をクリックします。

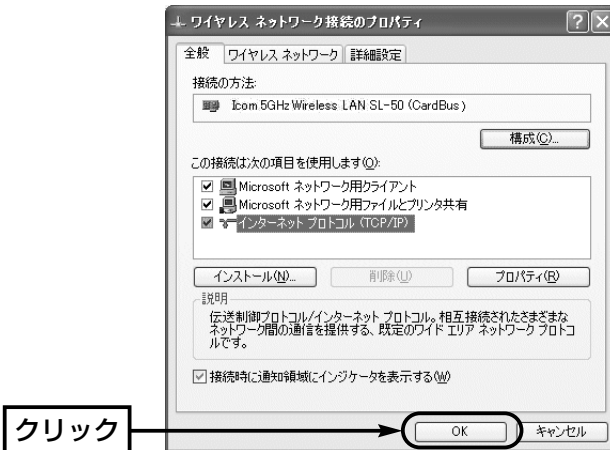


8. [次のIPアドレスを使う(S)]のラジオボタンをクリックして、チェックマークを入れます。

[IPアドレス(I)]と[サブネットマスク(U)]を入力して、〈OK〉をクリックします。



9. 手順7.の画面で 〈OK〉 をクリックします。



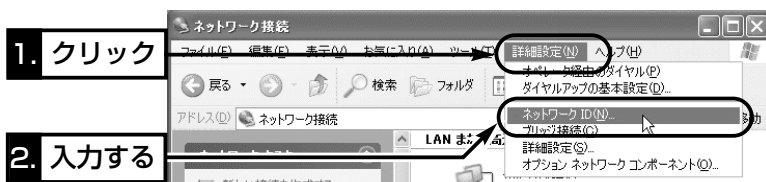
6 パソコン同士で無線通信する

6-3 「フル コンピュータ名」と「ワークグループ」の設定

※Windows^{XP}以外のOSでの設定手順は、補足説明書をご覧ください。

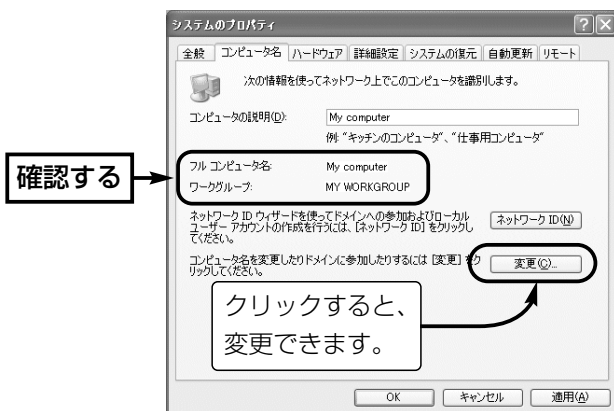
【設定の手順】

- 1.本書6-2章の手順(1.~6.)で、[ネットワーク接続]画面を表示させます。
- 2.「詳細設定(N)」から[ネットワークID(N)]をクリックします。



- 3.[フル コンピュータ名:]と[ワークグループ:]の変換が必要な場合は、〈変更〉をクリックして表示される画面で変更できます。

※ 入力は、半角英数字で行います。



【フル コンピュータ名：】 ネットワーク上で、パソコンごとに識別用の名前を入力します。なお、同じネットワークグループのパソコンと重複しないように設定してください。

【ワークグループ：】 同じ名前を設定したパソコンが、ネットワーク上で同じネットワークグループとして認識されます。

同じグループ名を通信の対象となるすべてのパソコンに設定してください。

異なる名前を設定すると通信できません。

【コンピュータの説明(D)：】 必要があれば、任意に入力します。

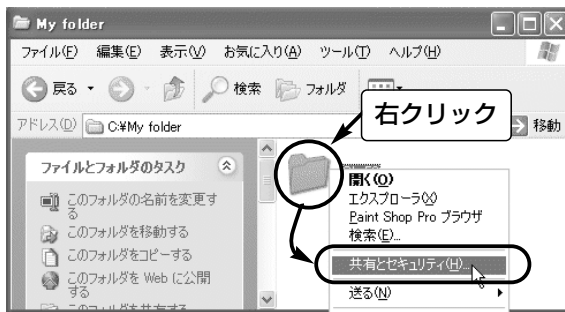
6-4 「共有フォルダー」の設定

パソコンのドライブまたはフォルダーを相手先に公開するには共有フォルダーの設定が必要です。

※Windows^{XP}以外のOSでの設定手順は、補足説明書をご覧ください。

【設定の手順】

- 1.[マイコンピュータ]アイコンなどから、共有したいフォルダーのあるウィンドウを開きます。
- 2.共有したいフォルダー上にカーソルを移動して右クリックします。
表示されたメニューから[共有とセキュリティ(H)...]をクリックします。



- 3.[ネットワーク上での共有とセキュリティ]の設定内容を変更して、〈OK〉をクリックします。

- 共有設定したフォルダーには、共有を示すアイコンが表示されます。



7-1 本製品を取り外すには

パソコンの電源を入れたまま、本製品を取り外す手順について説明します。

なお、パソコンの電源が切れているときは、パソコンの取扱説明書にしたがって本製品をPCカードスロットから取り外してください。

パソコンの電源が入っているときは、次の手順を守らないと、システムが暴走することがあります。

【取り外すときの手順】

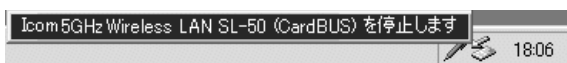
1. タスクバーに表示された「ハードウェア取り外し」アイコン→「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50(CardBus)」の順にクリックします。

[Windows^{XP}]



[Windows Me]

[Windows 2000]



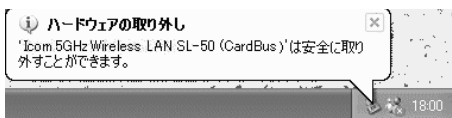
[Windows 98SE]



2. <OK> をクリックします。

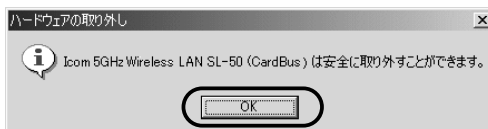
※Windows^{XP}の場合、下記の画面が表示されていることを確認するだけです。

[Windows^{XP}]

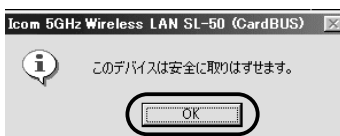


[Windows Me]

[Windows 2000]



[Windows 98SE]



3. PCカードスロットから本製品を取り外します。

※再度使用するときは、本製品を装着するだけで使用できます。

7-2 ドライバーのアンインストール

本製品のドライバーをパソコンからアンインストールする手順を説明します。

■ Windows^{XP}の場合

【アンインストールの手順】

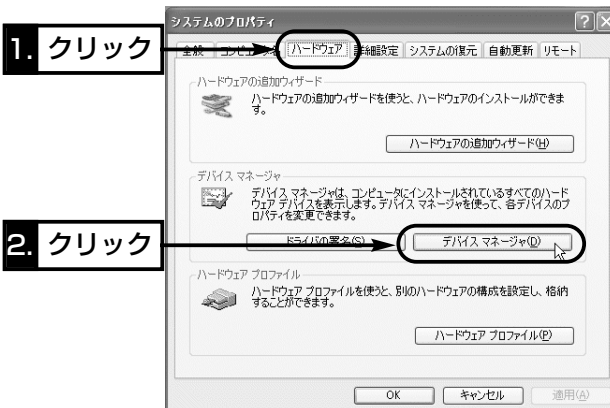
※本製品をPCカードスロットに装着した状態で行ってください。

1.マウスを〈スタート〉→[マイコンピュータ](右クリック)→「プロパティ(R)」の順にクリックします。

- 「システムのプロパティ」を表示します。



2.[ハードウェア]タブ→〈デバイスマネージャ(D)〉の順にクリックします。



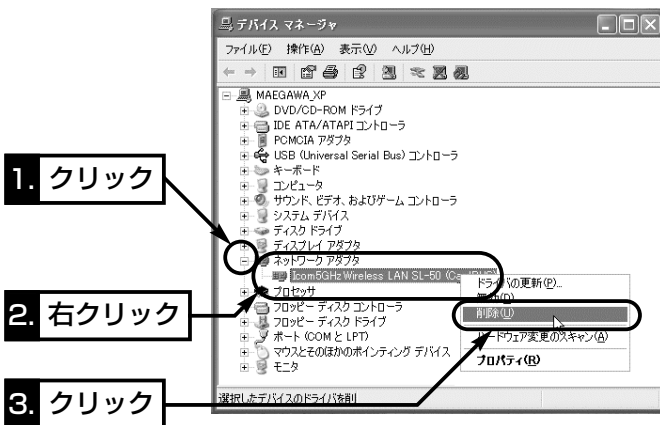
7 ご参考に

7-2 ドライバーのアンインストール

■ Windows^{XP}の場合【アンインストールの手順】(つづき)

3.「ネットワークアダプタ」の田をクリックします。

[Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)]→〈削除(U)〉の順にクリックします。



4. 〈OK〉をクリックします。

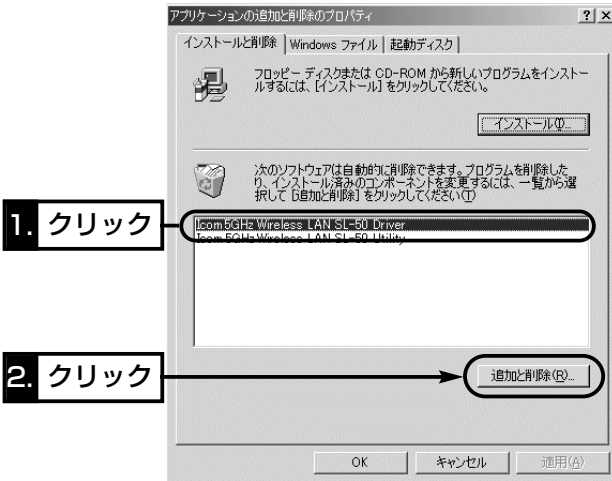


7-2 ドライバーのアンインストール(つづき)

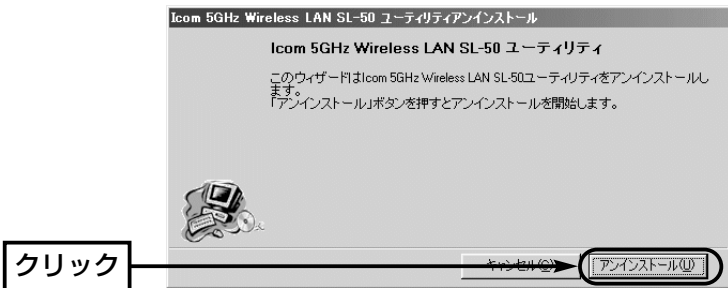
■ Windows 98SE/Me/2000の場合

【アンインストールの手順】

1. 本製品を取り外します。(☞「7-1 本製品を取り外すには」を参照)
2. マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[アプリケーションの追加と削除]の順に操作します。(※画面はWindows Meのものです。)
3. 「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 Driver」→〈追加と削除(R)...〉の順にクリックします。



4. 〈アンインストール(U)〉 をクリックして、表示する画面にしたいがいます。



7 ご参考に

7-3 設定ユーティリティのアンインストール

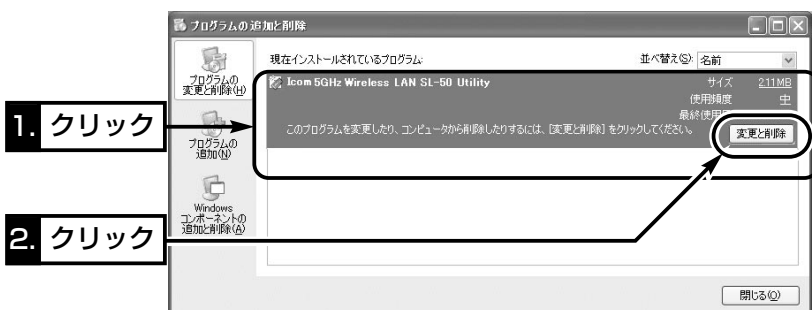
Windows^{XP}を例に、設定ユーティリティをパソコンからアンインストールする手順を説明します。

※そのほかのOSをご使用の場合は、この手順を参考に、そのOSで「アンインストールする」ときの手順にしたがってください。

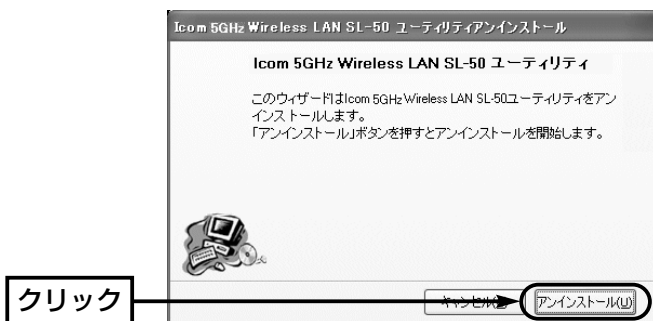
【アンインストールの手順】

※設定ユーティリティを終了させてから操作してください。

1. マウスを〈スタート〉→[コントロールパネル(C)]の順に操作します。
2. コントロールパネルから、[プログラムの追加と削除]をクリックします。
3. [Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 Utility]→〈変更と削除〉の順にクリックします。



4. 〈アンインストール(U)〉をクリックして、表示する画面にしたいです。



7-4 ドライバーのインストール状態を確認する

Windows^{XP}を例に、ドライバーのインストール後、本製品が正常に動作していることを確認する手順を説明します。

※本製品をPCカードスロットに装着した状態で行ってください。

※そのほかのOSをご使用の場合は、この手順を参考に、そのOSで「ドライバーのインストール状態を確認する」ときの手順にしたがってください。

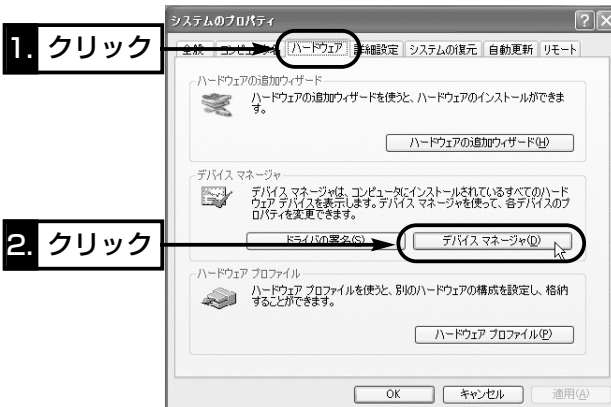
【確認の手順】

1.マウスを〈スタート〉→[マイコンピュータ](右クリック)→「プロパティ(R)」の順にクリックします。

- 「システムのプロパティ」を表示します。



2.[ハードウェア]タブ→〈デバイスマネージャ(D)〉の順にクリックします。



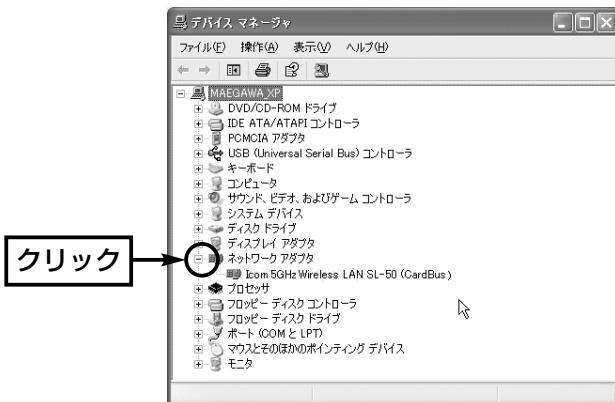
7 ご参考に

7-4 ドライバーのインストール状態を確認する

【確認の手順】(つづき)

3.「ネットワークアダプタ」の[+]をクリックします。

- ドライバーが正しくインストールされていると、「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」を、画面のように表示します。



※上記画面で「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」のアイコンに「!」や「×」マークがついていたり、「? その他のデバイス」という項目に「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」が表示されているときは、ドライバーの再インストールを行ってください。

■ ドライバーの再インストールについて

Windows^{XP}の場合は、ドライバーを本書6-2章の手順にしたがってアンインストールしてから、再インストールしてください。

Windows 98SE/Me/2000の場合は、本製品をとりはずしてから、本書3章の手順で再度インストールウィザードにしたがって操作すると、アンインストールウィザードが表示されます。

表示されたその画面にしたがって再インストールしてください。

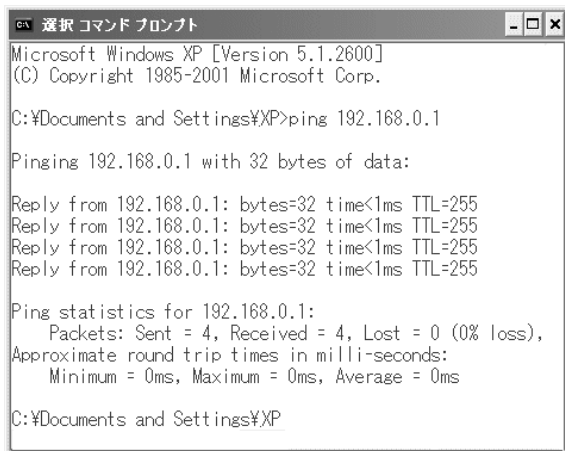
7-5 Pingコマンドで接続を確認する

IPパケットが通信先に正しく届いているかを、次の操作で確認できます。

Windows^{XP}を例に、以下の操作手順を説明します。

【操作の手順】

- 1.マウスを〈スタート〉→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順に操作します。
- 2.キーボードからPingコマンドを入力して、[Enter]キーを押します。
※相手先のIPアドレスを「192.168.0.1」とすると、下記ようになります。
ping 192.168.0.1と入力して、[Enter]キーを押します。
- 3.接続が正常なときは、画面のような結果を表示します。
※画面中に表示される数値については、ご使用のネットワーク環境によって異なります。



```
選択 コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings\XP>ping 192.168.0.1

Pinging 192.168.0.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=255
Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=255
Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=255
Reply from 192.168.0.1: bytes=32 time<1ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.0.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\Documents and Settings\XP
```

7-6 故障のときは

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●修理を依頼される時

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品とパソコンの設定などを調べていただき、それでも具合の悪いときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にご連絡ください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●アフターサービスについてわからないときは

お買い上げの販売店または弊社各営業所サービス係にお問い合わせください。

アイコムは無線LAN製品について、お客様の疑問・質問にお答えするコールセンターを土日祝日も含めて開設しています。

本製品は、弊社コールセンターのサポート対象製品です。

ご不明な点がございましたら、下記まで、お気軽にお問い合わせください。

コールセンター

TEL 06-6795-1770 (*通話料はお客様負担となります。)

営業時間：平日・土日祝日 9:00~12:00、13:00~17:00

(※年末・年始、お盆休みを除きます。)

■Eメール、FAX、郵便によるお問い合わせも受け付けております。

●Eメール：support_center@icom.co.jp

●F A X：06-6793-3336

●住 所：〒547-0004

大阪市平野区加美鞍作 1-6-19

アイコム(株) コールセンター宛

7-7 定 格

- 国 際 規 格 : IEEE 802.11a準拠
- 国 内 規 格 : ARIB STD-T 71
- 通 信 方 式 : 単信方式
- 電 波 方 式 : 直交周波数分割多重方式(OFDM)
- 周 波 数 帯 域 : 5GHz帯(5.15~5.25GHz)
- チ ャ ン ネ ル : 全4ch(34ch/38ch/42ch/46ch)
- 通 信 速 度 : 自動/54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
- 最 大 伝 送 距 離 : 約55m(屋内)
- 暗 号 化 処 理 : Wired Equivalent Privacy(WEP : RC4)
Advanced Encryption Standard(AES)
- 使 用 温 度 条 件 : 0~+50℃
- 保 存 温 度 条 件 : -20~+70℃(結露しないこと)
- 内 蔵 ア ン テ ナ : 丸型平面アンテナ
- 入 力 電 圧 : DC3.3V±0.5V
- 消 費 電 流 : 600mA(Max.)
- 外 形 寸 法 : 118(W)×10(H)×54(D)mm
- 重 量 : 約40g(付属品を除く)
- 対 応 機 種 : PC/AT互換機(DOS/V)
- 対 応 O S : Windows^{XP}、Windows 2000、
Windows Me、Windows 98SE
- 送 信 出 力 : 10mW/MHz以下
- 受 信 感 度 : -65dBm以下(フレームエラーレート=10%)
- 復 調 方 式 : OFDM復調
- ス プ リ ア ス 妨 害 限 度 : 4nW以下(1 GHz未満) 20nW以下(1 GHz以上)

※ 伝送距離は、通信速度や環境によって異なります。

※ 電波法により、屋内使用に限定されます。

※ 定格・仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。

高品質がテーマです。

アイコム株式会社

本 社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	060-0041	札幌市中央区大通東9-14	TEL 011-251-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	466-0015	名古屋市昭和区御器所通2-24	TEL 052-842-2288
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。